



日本共産党  
みうら とおる  
三浦 徹



## 加齢性難聴に支援の手を

**議員** 難聴により脳に入ってくる情報が少なくなることが脳の機能低下につながり、認知症につながるとも指摘されている。加齢性の難聴について、歳のせいだと片付けるのではなく、介護予防の観点からも必要な対策をとるべきではないかと考える。そこで、次の点についてのお考えを伺う。

- 1 難聴を早期発見するためには高齢者の方々への聴覚検査が重要である。聴覚検査を高齢者の特定健康診査の項目に加えるべきではないか。
- 2 高齢者の生活を支援し社会参加を促進するため、生活保護世帯や非課税世帯の中等度の難聴者に対して、補聴器購入助成を行うべきではないか。

**市長** 1 特定健康診査は医療の確保に関する法律の中に位置づけられた生活習慣病に関する健康診査とされており、各種検査項目が決められている。聴覚検査は専用の検査器具や防

音室を必要とするため、実施することは困難である。

2 聴覚障害の手帳を有していれば補聴器の支給の対象となる。制度の拡充は考えていない。

**議員** 今後、加齢性の難聴により日常生活のクオリティーが低下している高齢者を早期に発見するため、聴覚検査が重要になってくる。尾道においても、中程度の難聴の方々が補聴器を購入するための助成制度をつくって欲しい。

一般質問を終えて…

加齢性の難聴で日常生活に困難さを感じる人が年々多くなってきています。認知症予防の観点からも、補聴器購入に対する助成を要望します。



楽しい  
会話で  
認知症予防!!



## ピックアップ議案 -この議案ってどんなこと??-

その他、すべての議案の結果は次のページへ

(※1万円未満切捨)

**P** 議案第95号

### 令和3年度尾道市一般会計補正予算(第7号)

補正額 15億 5,824万円 (予算総額: 604億 3,097万円)

-主な補正内容-

歳入	支国庫金	●新型コロナウイルスワクチン接種負担金	1億 5,000万円
		●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	1億 2,000万円
歳出		●新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億 7,000万円

**P** 議案第112号

### 令和3年度尾道市一般会計補正予算(第8号)

補正額 5億 1,426万円 (予算総額: 609億 4,524万円)

-主な補正内容-

歳入	支国庫金	●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1億 5,050万円
		●事業継続特別支援事業	1億 1,250万円
歳出		緊急事態宣言の発令に伴う休業等の影響により、前年または前々年と比較して売上が30%以上減少した者に対して支給される国や県の月次支援金制度受給者に、市独自の追加支援として、中小企業に対しては月 20万円、個人事業者に対しては月 10万円を上限に、支援金を給付する事業	
		●小・中学校教育 I C T 環境整備事業	4,231万円